

# 民主島根

2019年  
**9.1**  
第1342号

発行所 松江市袖師町3-6  
日本共産党島根県委員会

TEL 0852-24-2444  
FAX 0852-24-6369

## 益田市議選 現有1議席を確保

### 安達氏4期目当選、岡崎氏健闘

#### 参院比例1352票から13%得票増

益田市議選(定数22)が8月25日投票され、日本共産党の安達美津子氏(54)が現職の4期目の当選を果たした。岡崎久氏(69)が新当選した。選挙戦で、両氏は「党2議席への躍進で安倍9条改憲ノー、消費税10%増税ストップの思いを示そう」と呼びかけ、▽県西部自治体で最も高い国保税の引き下げ、介護保険料の負担軽減▽来年10月からの水道料金値上げストップ▽子ども医療費の中学卒業までの無料化▽老朽化した小中学校のトイレ改修▽買い物、通院に便利な交通手段の確保などを前面的



猛暑の中、訴え抜いた安達美津子(写真左)、岡崎久(写真右)の両氏(益田市)



益田市で8月4日、日本共産党の大平よしのが衆院中国ブロック比例予定候補を迎えて演説会が開かれました。(写真)

### 9条改憲、消費税10%中止を

#### 益田市 大平前衆院議員迎え演説会

益田市で8月4日、日本共産党の大平よしのが衆院中国ブロック比例予定候補を迎えて演説会が開かれました。大平氏は、参院選で自民、公明、維新など改憲勢力3分の2を阻止した意義を強調。市議選での2議席躍進で、安倍政権が狙う改憲や消費税10%増税に審判を下そうと呼びかけました。安達みつ子市議は「水道料金の値上げをストップさせるためにも2議席を、岡崎ひさし党西部地区常任委員は「国民健康保険料の引き下げ、小中学校のトイレ改修を実現

回6・89%)。開票結果は次の通りです。  
安達 美津子(現) 1026票・10位  
岡崎 久(新) 503票・25位

### 赤旗囲碁・将棋大会 今後の日程

#### ☆松江地区大会

9月22日(日) 受付9時30分 開会10時

場所: いきいきプラザ島根4F

【参加申込】日本共産党東部地区委員会

TEL (0852) 24-2456 FAX (0852) 24-2430

#### ☆出雲地区大会

9月8日(日) 受付9時30分 開会10時

場所: 神門(かんど)コミュニティーセンター

【参加申込】日本共産党中部地区委員会

TEL (0853) 22-4031 FAX (0853) 23-3430

#### ☆益田地区大会

9月22日(日) 受付9時30分 開会10時

場所: 益田市立市民学習センター

【参加申込】日本共産党西部地区委員会

TEL (0855) 23-1000 FAX (0855) 22-3731

#### ☆邑智地区大会

9月1日(日) 受付9時30分 開会10時

場所: 矢上交流センター

【参加申込】邑智地区実行委員会

TEL (0855) 95-1362

### 安倍改憲策動に終止符を

#### 終戦の日 地方議員先頭に訴え

日本による侵略戦争と植民地支配の終結から74年を迎えた8月15日、日本共産党は地方議員らを先頭に各地で街頭宣伝に立ちました。松江市では、尾村利成県議、橋祥朗、吉儀敬子、田中肇の市議団がスピーチで訴えました。尾村県議は、安倍首相が「残された任期の中で



の野党統一候補として奮闘した中林佳子元衆院議員があいさつしました。憲法改正に挑む」などと民意を無視した前のめりの姿勢を批判。「多くの犠牲と悲惨な体験を経て日本国民が手にした憲法9条を守り、生かす政治をつくるために全力を尽くす」と決意表明しました。(写真)

市議団は、先の参院選で、改憲勢力は3分の2を割り、国民は改憲ノーの審判を下したと指摘。「安倍改憲の狙いは海外での無制限の武力行使を可能にし、米国の血の同盟づくりにある」と強調し、「戦争する国づくりをすすめる安倍政権の改憲策動に終止符を打つため、力を合わせましょう」と呼びかけました。

### 鼓動

夏の風物詩、打ち上げ花火。台風の影響で中止となった地域もあったが、県内では各地で花火大会が開かれ、大輪の花を咲かせた。ハート形や土星、ひまわりの形など、光を操る技術は時代とともに進化し、日本の打ち上げ花火は世界に誇れる技術といわれている。▼花火の色はストロンチウム(赤)、ナトリウム(黄)、バリウム(緑)、銅(青緑)の各物質を材料とする4色が基本。昭和から平成に移る頃には、薬品を組み合わせてピンクやレモン色など中間色を出せるようになったが、令和になっても「花火師の夢」と言われるほど難しい色がある。それは、闇に映える鮮やかな青色だという。▼産業技術総合研究所で火薬学を研究する松永猛裕・上級主任研究員は「青色の光をつくる銅の性質に理由がある」と説明する。青い花火の材料は酸化銅で、燃焼すると塩化銅に変わるが、塩化銅は様々な色が発光し、青だけを上手に引き出せない。また、夜空にはわずかに空の青さが残り、青い光の花火は美しく見えにくいという理由もある。▼2017年、「柿木花火工業」(滋賀県長浜市)の社長で花火師の柿木博幸さんは、実験100回、7種の材料を配合し、夜空と水面に映る青色が美しい花火「ブルーインパルス」を完成させた。松永氏は「材料を青く光らせる配合に加え、周囲の発色を調節し、光を上手に青く見せているのでは」と推察している。▼平成時代にはコンピューターで花火の点火や連射を制御できるようになり、近年では環境を汚さないエコ花火の開発も進んでいる。日本の伝統技術は時代を超え、令和の夏も夜空を彩る。(遠)